

25 先物振興発第 11 号

平成 25 年 7 月 11 日

農 林 水 産 大 臣
林 芳 正 殿

日本商品先物振興協会
会長 岡 地 和 道

米先物市場の存続に関する要望

米の先物取引につきましては、平成 23 年 8 月 8 日に 2 年間の期間を設けての検証事業として試験上場により 72 年ぶりに取引が開始され、本年 8 月にその期間の満了を迎えるところであります。

この検証事業を総括するため、本年 4 月、大阪堂島商品取引所においては外部有識者で構成される「コメ試験上場検証特別委員会」が設置され、5 回に亘り同委員会が開催された結果、6 月 28 日にはコメ試験上場検証特別委員会報告書が同取引所に提出、公表されております。

同報告書では、試験上場開始前より米穀関係者の中に存在する「投機資金によって価格が乱高下するのではないか」「米の生産、流通の現場に著しい支障を及ぼすのではないか」等の不安に関しては、①これまでのところコメの価格に乱高下は認められず、②また生産、流通に特段の支障が具体的に生じている事例は確認されず、③更に当業者による先物取引の活用事例も見られる等有益な点も確認されている、との結論が得られております。

当先物協会といたしましても、当該報告書の検証結果と同様の認識を持っており、国内唯一の公設市場として認知されつつある状況等を更に発展させていくため、今後も取引所と一体となって、米先物市場における公正な価格形成、米の当業者の皆様の経営安定に役立つ市場機能が十全に発揮されるよう最大限の努力を傾注する所存でありますので、米先物市場の存続について特段のご理解とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

以 上